

2024年3月28日

「TSUBASA・じゅうだん会共同研究会」の発足について ～システム、店舗運営・業務効率化、サイバーセキュリティ分野における連携～

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、2024年3月28日（金）、TSUBASAアライアンス※1及びじゅうだん会※2の参加行全15行と、「TSUBASA・じゅうだん会共同研究会」（以下「本研究会」）を立ち上げましたので、お知らせします。

記

1. 本連携の経緯・目的

コロナ禍を契機として「デジタル化」の潮流が加速し、個人の価値観や行動にも大きな変化をもたらしており、多様化するお客さまのニーズや地域の課題解決に対するステークホルダーからの期待に 대응していくため、地域金融機関として経営効率を高めながら地域の持続的な発展に貢献することが各行共通の課題となっています。

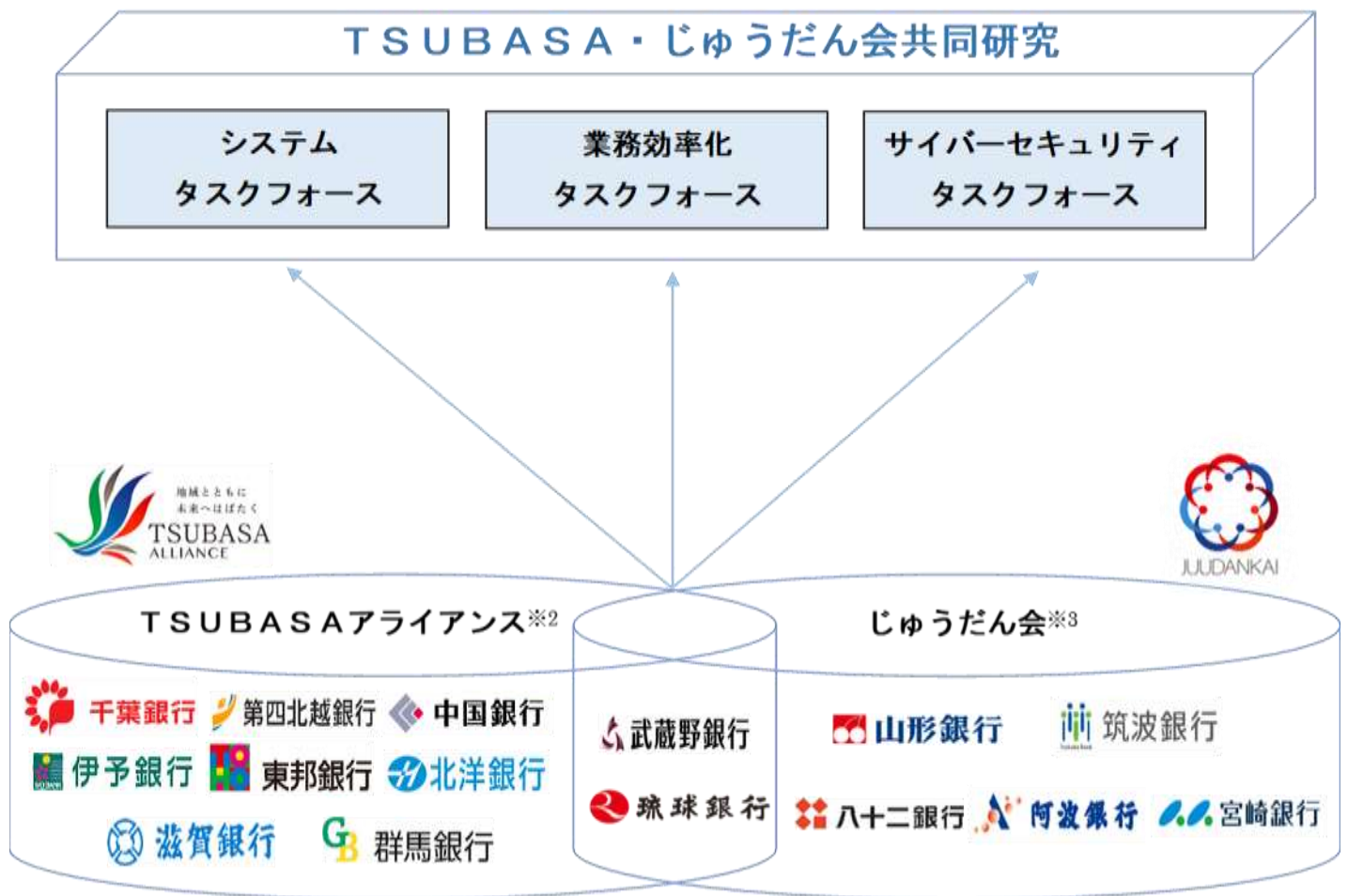
このような環境下において、システム関連で親和性のある両グループが知見・ノウハウを共有し、効率的なシステム運用・業務プロセスの実現を目指すとともに、お客さま向けサービスの高度化、各地域経済の持続的な成長に貢献するため、本研究会を立ち上げることにしました。

当行グループは、本研究会の参加行と連携して、次世代システムや店舗省力化施策等の共同研究を進めること等により、お客さまサービスの更なる利便性向上や業務効率化による当行の生産性向上等に取組んで参ります。

2. 本研究会の概要

名称	TSUBASA・じゅうだん会共同研究会
検討テーマ	<システムタスクフォース> <ul style="list-style-type: none">次世代システム、サブシステムに関する共同研究デジタル分野（API活用等）に関する共同研究AML（マネー・ローンダリング防止）対策に関する共同研究 <業務効率化タスクフォース> <ul style="list-style-type: none">店舗省力化施策（有人店舗の省力化、バックオフィスの共同化）に関する共同研究業務効率化に関する共同研究 <サイバーセキュリティタスクフォース> <ul style="list-style-type: none">サイバーセキュリティ対策に関する共同研究サイバーリスクマネジメントに関するノウハウ共有
メンバー	TSUBASAアライアンス 全10行、じゅうだん会 全7行 全15行※ ※武蔵野銀行・琉球銀行は両グループに参加

【イメージ図】



以上